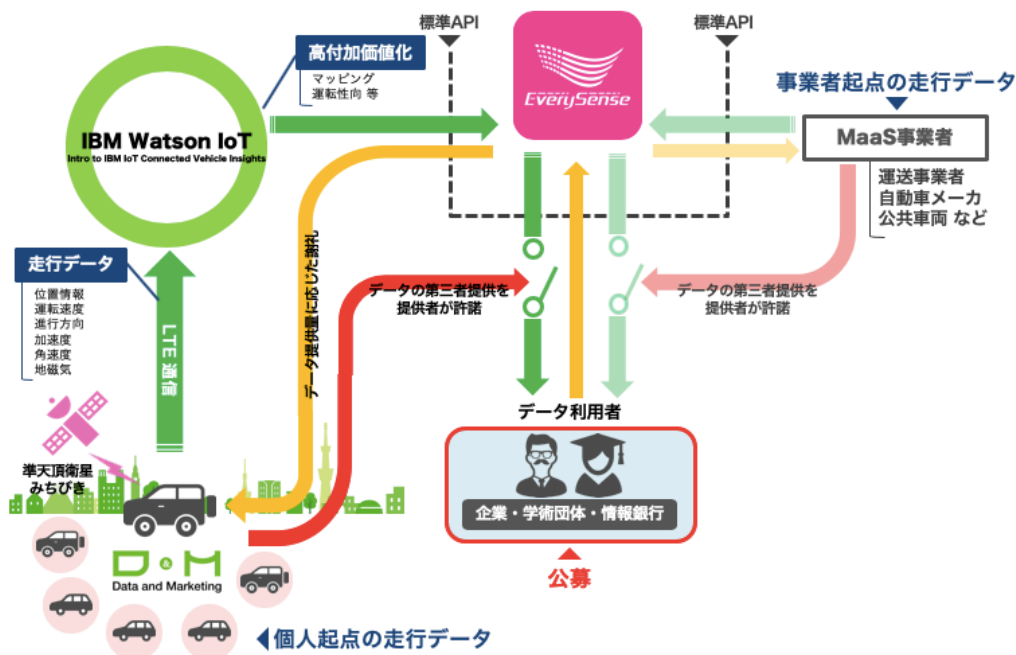


**オープンテレマティクスプラットフォームのデータクラウドファンディング
モニター車1000台以上から提供される自動車走行リアルタイムデータの利用者を募集**

エブリセンスジャパン株式会社（代表取締役社長：北田正己、以下 当社）はIoTデータ取引市場「EverySense」、日本アイ・ビー・エム株式会社（以下 日本IBM）が提供する「IBM IoT Connected Vehicle Insights」、株式会社ディーアンドエム(代表取締役: 杉村昌宏、以下 D&M)が保有する「消費者モニターネットワークおよび属性情報」を活用し、自動車から取得できるリアルタイムの走行データとドライバー属性情報を組み合わせ、**高付加価値化¹**して第三者へ提供可能とするこれまでに無いオープンテレマティクスプラットフォームの実証実験（以下 本プロジェクト）を行う計画に至りました。実証実験の実施に向け、本プラットフォームからデータを取得・活用いただける企業・団体を募集します。



図：本プロジェクトのプラットフォームイメージ

■背景と目的

民間投資が加速する自動運転やコネクテッドカーの研究開発、および自動車関連産業におけるサービス・技術開発において、多種多様な自動車の走行データを収集することが広く求められています。

しかしながら、現在のテレマティクスデータは、自動車メーカーによる自社の特定車種、およびそのユーザから収集されているため、データ収集範囲・方法とデータの活用範囲が限定され、データとしての網羅性に欠けていました。

三社はこの課題を解決するため、自動車の走行データを活用した新しいビジネスモデル創出を支援する、自動車メーカーおよび業種・業態に因われないオープンテレマティクスプラットフォームを共同検討し、2019年内のサービス提供開始を目指し、実証実験の準備を進めることに合意しました。

この実証実験においては、D&Mの有する500万人の消費者モニターネットワークからデータ提供に協力いただく一般モニターを募集し、ご本人の同意に基づいた情報の提供を実現する計画です。

ご参考：本プロジェクトにおける計画

¹データ提供者の属性情報付、地図への合わせこみなど処理を行い、最小分解能1秒の高精細位置情報、および最小分解能0.1秒の高精細加速度情報、加工しない生データを提供します。

■本プロジェクトの特長

1. メーカー・車種に依存しないオープンテレマティクス

関東圏²において、一般ユーザーが所有する自動車 1,000 台³に専用デバイスを搭載することで、特定のメーカ、車種、運転者属性に限定されないデータを収集・提供がされます。

2. 高付加価値化されたリアルタイム⁴走行データの提供

走行データは逐次 LTE 回線により逐次リアルタイムに収集され、日本 IBM の「IBM IoT Connected Vehicle Insights」によって地図マッピング、運転性向など高付加価値化され提供されます。

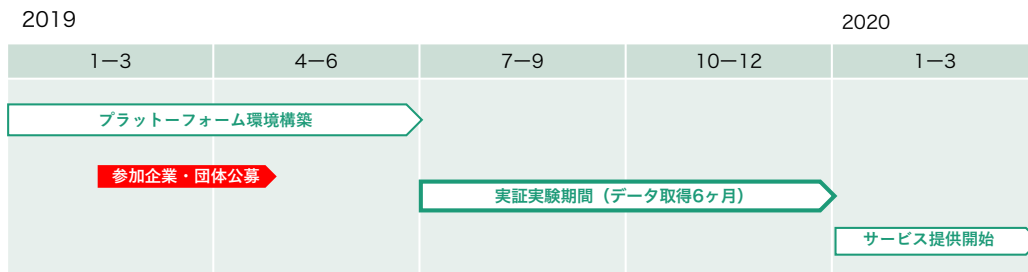
3. データ提供者の本人許諾が得られたデータの提供

個人情報の保護を優先し、収集対象となるデータはドライバーの許諾の元、第三者（本実証実験参加企業・団体）へ提供されます。

4. 走行データ取り扱いのための標準的な API を整備

走行データ取り扱いのための標準的な API を整備することで、既存の MaaS (Mobility-as-a-Service) 事業者の有する事業者起点の走行データとの連携も可能となります。

<想定スケジュール>



■実証実験概要およびデータ活用企業・団体の募集について

D&M を通じて参加する一般モニター（以下 エンドユーザ）が所有するメーカー・車種を限定しない自動車両 1,000 台に当社が新規開発する移動体用デバイス EveryMobile（以下 専用デバイス）を搭載。

本実証実験に有償で参加いただくデータ活用企業・団体（以下 データ収集者）は、多種多様なメーカー、車種、運転者属性、と運転速度、進行方向、加速度、ジャイロなどの動作データと、準天頂衛星に対応した高精度 GPS データを元に付加価値化されたリアルタイム自動車走行データをエンドユーザの提供同意のもと、取得可能となります。実験期間中、6 ヶ月間にわたり当該プラットフォームを通じてデータを取得いただくことができ、取得したデータは期間終了後も継続的に活用が可能です。また、期間終了後は、本プラットフォームを用いた商用サービスを提供し、個別同意のもとに提供者から直接データ提供を受けることも可能とする予定です。

<募集概要>

- 募集数 : 10 社・団体
- 参加費用 : 一社あたり 1,200 万円（200 万円×6 ヶ月間のデータを提供します）
- 募集期限 : 2019 年 2 月 20 日より募集上限に達し次第終了

<応募説明会>

本プロジェクトの参加者向け説明会を、以下のように開催いたします。

- 日時 : 2019 年 3 月 26 日 16 時 00 分から（受付開始 16 時 30 分）
- 場所 : 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー24F
（株式会社ディーアンドエム内 セミナールーム）
- 申し込み : <https://every-sense.com/cognitive-car>

² 対象エリアは、購入者の希望により調整も可能です。

³ 購入者の応募状況により、車両数の追加も可能です。

⁴ リアルタイム：位置情報は、最小 1 秒間隔、加速度、ジャイロは、0.1 秒の分解能で計測します。

■ 日本アイ・ビー・エム「IBM IoT Connected Vehicle Insights」について

IBM IoT Connected Vehicle Insights は、つながるクルマ”のプラットフォームとして、テレマティクス・ソリューションの構築に必要なとされる機能をクラウド上で提供します。大量の車両走行状況や道路関連情報をクラウド上で収集・分析し、リアルタイムに道路ネットワーク情報に基づく位置情報サービスや運転支援、Pay How You Drive など様々なサービスの実現を支援します。

■ 株式会社ディーアンドエムについて

株式会社クロス・マーケティンググループ（東証一部 3675）の子会社であるディーアンドエム は、全国 500 万人を超えるモニター会員と 2,000 を超える属性カテゴリに支えられたビッグデータを活用し、顧客企業のマーケティングをよりの確に、わかりやすく、結果を伴うものにするためのサービスを提供しています。また、このモニター会員はすべてアンケート聴取が可能なモニターであるため、顧客企業が取得したい情報を取得することが可能です。

■ IoT データ取引市場「EverySense」について

IoT デバイスを所有するデータ提供者が安心、かつスムーズにデータを第三者に提供でき、またデータ利用者が求めるデータを容易に判断して収集・活用できる技術的・制度的環境を整備。提供者自身が取引毎に提供可否を判断・承諾しデータ提供先を決定する仕組みによりデータ提供者の「データをコントロールする権利」を保証。本プラットフォームにおける中核的な仕組みにおいて EverySense,inc.（本社：米国、CEO 真野浩）が国内特許を取得しています。

■ エブリセンスジャパン株式会社

代表者 : 代表取締役社長 北田 正己
本社所在地 : 東京都港区北青山2-7-26 Landwork青山ビル
設立 : 2014年5月
Webサイト : <https://www.every-sense.com>

本件に関するお問い合わせ

エブリセンスジャパン株式会社（担当：杉山）

TEL : 03-6890-0598 Mail : info@every-sense.com